SONY

4-147-856-**02**(2)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

SRS-NWGU50

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

付属の AC パワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100 〜 240 V）につないでお使いください。

AC コードについて：

AC コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持ってコンセントから抜いてください。

留守にするときは：

本機の I/⏻（電源 / スタンバイ）スイッチを OFF にしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに AC パワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
  —直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  —窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  —風呂場など、湿気の多い所。
  —ほこりの多い所、砂地の上。
  —時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15 〜 30 分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

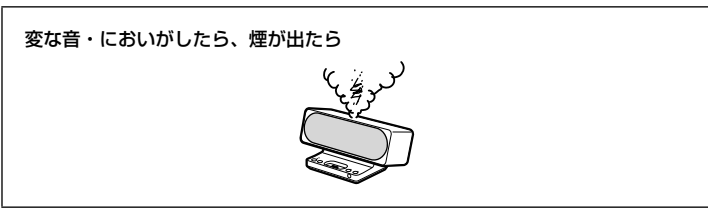
定期的に点検する

1 年に 1 度は、AC パワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ AC パワーアダプターを抜く
❸ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

ぬれ手禁止

⚠危険 下記の注意事項を守らないと **火災・感電・発熱・発火**により **死亡**や**大けが**の原因となります。

火災 感電

指定以外の AC パワーアダプターを使わない

必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと **火災・感電**により**大けが**の原因となります。

火災 感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

指定以外の機器に使わない

火災やけがの原因となります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと **けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による **大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単 4 形アルカリ、単 4 形マンガン

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

各部のなまえ

本体

1 INPUT ランプ
2 I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプ
3 I/⏻（電源 / スタンバイ）スイッチ
4 INPUT（入力切換）ボタン
5 WM-PORT コネクター（“ウォークマン”接続用）
6 BASS BOOST ランプ
7 MUTING ランプ
8 VOLUME（音量）+/– ボタン
9 リモコン受光部

リモコン

1 **INPUT（音楽入力）ボタン**
"WALKMAN" ↔ LINE IN*[1]
"WALKMAN" と LINE IN を切り換えます。
INPUT ランプが点灯します。

2 **🗀（フォルダー）＋ / － ボタン** *[2]
🗀（フォルダー）＋ / －ボタンは、お使いの“ウォークマン”が選択している曲の並び順で、グループの最初の曲を頭出しします。

3 **⏮ ⏭（頭出し）ボタン**
押したままにすると、“ウォークマン”の早送り / 早戻しができます。短く押すと、再生中の曲の頭出し / 次の曲の頭出しができます。

4 **▶II（再生 / 一時停止）ボタン**
押すと、“ウォークマン”の曲の再生 / 一時停止ができます。

5 **BASS BOOST ボタン**
ON ↔ OFF
（BASS BOOST ランプが点灯します。）

6 **I/⏻（電源 / スタンバイ）スイッチ**

7 **VOLUME（音量）+/– ボタン** *[3]
音量を調節します。
（調節中は I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点滅します。
音量が最大と最小の場合、MUTING ランプが点滅します。）

8 **MUTING ボタン**
ON ↔ OFF
（MUTING ランプが点灯します。）

*[1] INPUT ランプ点灯中は、“ウォークマン”は操作できません。
*[2] “ウォークマン”の仕様により動作しない、もしくは動作が異なることがあります。
*[3] リモコンの VOLUME + ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

ご注意

- 本機に対応する“ウォークマン”以外のポータブルオーディオ機器では、リモコンボタン 2 3 4 の機能は使用できません。
- スピーカー本体に“ウォークマン”を接続しているときは、本機の音量調節はできますが、“ウォークマン”の音量調節は変わりません。
- 機器の音量調節によっては、突然大きな音がでる場合があります。
- 本体に“ウォークマン”を接続した状態で、本体のリモコン ▶II ボタンを押しても、“ウォークマン”の音楽再生が始まらない場合があります。その場合は、一度“ウォークマン”本体のいずれかの操作キーを押してください。その後リモコンで操作ができます。

電源について

付属の AC パワーアダプターを本機に接続します。

ご注意

- AC パワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ･JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属の AC コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

極性統一形プラグ

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

海外で使うときは

付属の AC パワーアダプターは、AC100 ～ 240 V、50/60 Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプター（別売り）

ご注意

海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

接続する

“ウォークマン”を接続する

1 お使いの“ウォークマン”のアタッチメントを装着する。
アタッチメントは“ウォークマン”本体に付属しているものか、本体に付属している 2 種類のうちから対応しているものをご使用ください。お使いの“ウォークマン”によってアタッチメントの形状が異なる場合があります。詳しくは「本機に対応する“ウォークマン”」をご覧ください。

2 アタッチメントのツメを WM-PORT コネクター左側の穴の位置に合わせて先にはめ込んでから（①）、反対側を指で押し込みます（②）。

3 本体に“ウォークマン”を接続する。

本体の充電機能を利用するには
AC コードを接続し、本体に“ウォークマン”を接続してください。充電が自動的に開始します。充電の状態は“ウォークマン”本体に表示されます。詳しくは、お使いの“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

ヒント
アタッチメントを取りはずすには、イラストのようにアタッチメントのマーク（○○○）の位置を上から強く押してから（①）取りはずします（②）。

音楽を聞く

1 本体の I/⏻（電源 / スタンバイ）スイッチを押して電源を入れる。
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 本体のスピーカーの音量を最小にする。
VOLUME －ボタンを押し続けます。最小になると MUTING ランプが点滅します。

3 INPUT（入力切換）ボタンを押して、“ウォークマン”に切り換える。
INPUT ランプが消灯します。

4 曲を選択し、音楽を再生する。
再生、停止や他の操作はリモコンまたは“ウォークマン”本体で行ってください。本機との接続中に“ウォークマン”本体を操作するときは、“ウォークマン”をもう一方の手でしっかり支えてください。

5 音量を調節する。
本機の VOLUME ＋ボタンで調節します。

ご注意

- Bluetooth 内蔵“ウォークマン”は Bluetooth 設定を OFF にしてください。
- ご使用の“ウォークマン”によって、ダイナミックノーマライザ、イコライザー、VPT（バーチャルホンテクノロジー）、DSEE などが ON または調整されている場合がありますので、OFF にしてください。
- 本体の BASS BOOST 機能は初期設定が ON になっています。お好みで、付属のリモコンを操作して OFF にしてご使用ください。
- ワンセグ受信 / 録画中は、受信感度が大きく低下する場合があるため、使用できません。

ヒント
“ウォークマン”はヘッドホン接続および本機への接続の両方を同時に使用することはできません。

その他の機器と接続する

本体にポータブルオーディオ機器をつなぐことができます。接続ケーブル（別売り）を使って、LINE IN 端子に接続してください。突然大きな音が出て耳を痛めないようにポータブルオーディオ機器の音量を下げてから本体につないでください。

1 本体の I/⏻（電源 / スタンバイ）スイッチを押して電源を入れる。
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 本体のスピーカーの音量を最小にする。
VOLUME －ボタンを押し続けます。最小になると MUTING ランプが点滅します。

3 INPUT（入力切換）ボタンを押して、LINE IN に切り換える。
INPUT ランプが点灯します。

4 曲を選択し、音楽を再生する。

5 音量を調節する。
接続した機器を適切な音量にし、本機の VOLUME ＋ボタンで調節します。

ヒント
- ラジオまたはワンセグチューナーを内蔵した機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。
- リモコン操作で BASS BOOST、I/⏻、VOLUME +/– や MUTING ボタンが使えます。

リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる
単 4 形乾電池を挿入してください。

乾電池を交換時期について
マンガン電池使用時に、ふつうの使いかたをした場合、約 6 ヶ月もちます。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、2 本とも新しい電池と交換してください。
付属の単 4 形乾電池はお試し用ですので、使用可能時間が短い場合があります。

本機に対応する“ウォークマン”

WM-PORT（22 ピン）搭載“ウォークマン”でご利用できます。
本機の対応機種について詳しくは、以下のホームページまたはカタログをご覧ください。

http://www.sony.jp/walkman/acc/

WM-PORT は“ウォークマン”とアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。
付属のアタッチメントの対応機種については、下記の表をご覧ください。

アタッチメント	シリーズ	モデル名	
A タイプアタッチメント	A シリーズ	NW-A820 シリーズ	NW-A829/A828*
		NW-A800 シリーズ	NW-A808/A806/A805*
	S シリーズ	NW-S730FK シリーズ	NW-S738FK/S736FK*
		NW-S730F シリーズ	NW-S739F/S738F/S736F*
		NW-S630F シリーズ	NW-S639F/S638F/S636F*
		NW-S630FK シリーズ	NW-S638FK/S636FK*
B タイプアタッチメント	A シリーズ	NW-A910 シリーズ	NW-A919/A918/A916*
	S シリーズ	NW-S710F シリーズ	NW-S718F/S716F/S715F*
		NW-S610F シリーズ	NW-S616F/S615F*
	X シリーズ	NW-X1000 シリーズ	NW-X1050/X1060*

A タイプアタッチメント

B タイプアタッチメント

* 2009 年 10 月現在

ご注意

- 対応以外の“ウォークマン”を本体に接続しないでください。本体で対応していない“ウォークマン”を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 一部の地域では販売されていない“ウォークマン”もあります。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が小さい、または音が出ない	ケーブルが抜けかかっている。	接続を確認する。
	VOLUME ボタンが最小に絞られている。	VOLUME + ボタンで調節する。
	“ウォークマン”の WM-PORT ジャックまたは入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	“ウォークマン”から音楽が再生されていない。	“ウォークマン”を再生する。
	リモコンの MUTING ボタンが押され、MUTING が ON になっている。（MUTING ランプが点灯している）	リモコンの MUTING ボタンを押し、MUTING を OFF にする。
リモコンで本機、または“ウォークマン”を操作できない	本体から離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
	リモコン受光部の前に障害物が置いてある。	リモコン受光部の前から障害物を取り除く。
	“ウォークマン”がしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
	リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
	入力が LINE IN になっている。（INPUT ランプが点灯している）	入力を“ウォークマン”に切り換える。
ブーンという音がでる、またはノイズが出る	テレビなど近くに音がでる機器を置いている。	• 音を発しているものから、本機を離す。 • 電源を別なコンセントの差込口につなぎ変える。
音がひずむ	音量が大きい。	本体の VOLUME －ボタンを押して、音量を下げる。
	接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能が有効になっている。	“ウォークマン”のイコライザ設定を、「オフ」または「フラット」にする。
	外部接続機器の VOLUME が大きい	外部接続機器の VOLUME を小さくする。
リモコンに電池が入らない（きつい）	電池を逆に挿入できない構造になっています。	極性（+/–）を確認して正しく入れてください。
I/⏻ ランプがちらつく	音量を上げたときやリモコンを受信したときに I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	
ラジオが受信できない。	ラジオ付“ウォークマン”や LINE IN にラジオを接続した場合、ラジオ放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。	

全てのランプが点滅した場合、AC パワーアダプターをコンセントから抜き、再度接続してください。それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

スピーカー部

実効出力	10 W + 10 W（全高調波歪 10 %、1 kHz、8 Ω）（JEITA*）
入力	WM-PORT（22 ピン）、ステレオミニジャック
使用スピーカー	直径 57 mm

電源部・その他

電源	DC 13 V（付属の AC パワーアダプターを接続して AC100 ～ 240 V 電源から使用）
最大外形寸法	約 320 × 157 × 202 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約 2.0 kg
付属品	AC パワーアダプター（1） AC コード（1） リモコン（1） 単 4 形乾電池（マンガン）（お試し用）（2） “ウォークマン”用アタッチメント（2） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

その他の必要なもの

“ウォークマン”

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

ご愛用者アンケートのお願い

今後のよりよい製品作りの参考にさせていただきますので、お答えいただける範囲で下記ホームページからアンケートにご協力をお願い致します。

http://www.sony.co.jp/uc/

ホームページより回答いただきますと、「製品シリアルナンバー」という入力欄があります。この欄には、本機底面の機種ラベル内にございます 7 桁の数字をご入力ください。（なお、アンケート受け付け期間は、発売より約 2 年です。あらかじめご了承ください。）

製品カスタマー登録のおすすめ

製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、カスタマー登録をおすすめしております。
詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/avp-regi/

商標

“ウォークマン”、“WALKMAN”、WALKMAN ロゴ は、ソニー株式会社の登録商標です。